

『一人の笑顔のために』

学べることの幸せ

学校が正式に再開して、やっと一月が過ぎようとしています。これまで当たり前と思っていた「学校で学べること」が、こんなに大切で幸せなことなのだと改めて感じています。

4月から5月の臨時休業で授業ができなかった分を取り戻すために、夏休みなどの長期休業期間を短縮して授業時数の確保を行います。

裏面に、長期休業期間や本年度の授業時数についての表を載せていますので、ご確認ください。

<教え子から学んだこと・・・>

私が教員になってはじめて担任をもったときの生徒から教えてもらったことがあります。その生徒は中学校を卒業後、海上術科学校（自衛隊）に進学。3年後にその学校を卒業した後、ワーキングホリデービザを利用して、諸外国を旅してまわるということを経験しました。久しぶりに日本に帰ってきたとき、私を訪ねて来てくれました。内戦があっている国では、宿舎のすぐそばで爆弾の音がしていたこと。エジプトのピラミッドに登ろうとしたことなど、興味深い話をたくさんしてくれました。そのとき、その教え子が私に話してくれたことはひとつがとても印象に残り、忘れることができません。

「先生、日本のこどもはかわいそう。日本はものがあふれていて、感動する心を失くしている。」

こんな話をしてくれました。当時、「発展途上国」と言われていた国での話です。あるとき、その教え子がテーブルの上に小銭を置いていたら、そのお金を盗もうとしたまだ小学生ぐらいの子がいたそうです。その子に、なぜそのようなことをしたのか聞いたところ、その子は「妹に教科書を買ってやりたいんだ。」と答えました。教え子は、予想もしていなかったその言葉に感動はしたものの、お金はしっかり取り返したそうです。教え子はそんな子どもたちに、紙飛行機をつくってあげました。するととても喜び、子どもたちはその紙飛行機をととても大切に扱いながら、朝から夕方まで一日中遊んだそうです。その子どもたちにとっては、紙1枚も貴重なものなのです。教え子は、紙飛行機一つでこんなに感動し、よろこぶ子どもたちと日本の子どもたちを比べたのですね。

以前勤務した学校で、学校から配布したプリントや自分のノートを紙飛行機にしてベランダから外に飛ばしてあるのを発見したことがありました。とても悲しくなりました。物を大切に作る心、感動する心、感謝する心。私たちが忘れていないものはないでしょうか。

本当の豊かさとは何なのか、その教え子の話から考えさせられました。



話は変わりますが・・・

その教え子に私から質問してみました。

井上：「色々な国をまわってきたみたいだけど、言葉には困らなかった？コミュニケーションはどうしていたの？」

教え子：「先生、どんな国でも英語が話せば何とかできますよ。」

井上：「なるほど・・・」

英語は大切なのです。皆さんもしっかり勉強しておいてください。自分の世界が広がるはずですよ。

令和2年度 長期休業（夏休み・冬休み）期間について

<夏休み> 通常 7月21日 ~ 8月26日 (37日間)

本年度 8月1日(土) ~ 8月23日(日) (23日間)

<冬休み> 通常 12月25日 ~ 1月6日 (13日間)

本年度 12月26日(土) ~ 1月5日(火) (11日間)

令和2年度授業時数（三加和中学校 3年生）

月	授業時数 (計画)	授業時数 (実施) ①	登校日で 授業 ②	実質的な 指導時間 ①+②	過不足
4	70	15	0	15	-55
5	91	0	35	35	-56
6	120	124	0	124	4
7	70	131	0	131	61
8	16	36	0	36	20
9	111	108	0	108	-3
10	112	115	0	115	3
11	106	106	0	106	0
12	105	112	0	112	7
1	94	101	0	101	7
2	105	105	0	105	0
3	45	46	0	46	1
計	1045	999	35	1034	-11

学習指導要領で定められた時数⇒ 1015

左の表に示すとおり、本年度は4月・5月に授業が実施できなかった分を、長期休業期間を短縮することにより、授業時数の確保を行います。

当初の計画よりマイナス11時間とはなってはいますが、3年生においても合計1034時間を確保することができ、中学校学習指導要領で示されている基準の1015時間を超えることができています。